

2022年12月23日

友好協会ハーナウ鳥取会長ゲーベルトより鳥取ハーナウ友好親善協会宛て年末・クリスマスのご挨拶文書 翻訳

急ぎすぎず、もう少し安らかに
喧嘩が減って、少し平和になったら
自分の事だけを考えるより、謙遜を
そして、妬みをなくし、もう少し相手を思う。
恐怖や抑制の代わりにもう少し愛を
憎しみを捨て、勇気を持つ
もう少しだけ、真実と行動力を
持てれば、いいことでしょう。 ペーター・ローゼガー

鳥取ハーナウ友好親善協会の会員と協会のお友達の皆様へ

私たちは激動の時代に生きています。クリスマスを目前にして、一息つく時間です。世界の平和、特にウクライナの人々の平和をお祈りします。詩人ペーター・ローゼガーが上記の詩に表現しているように、我々も家族にもっと愛が欲しい、また、周囲にもっと温情が欲しいです。

当協会活動を制限していたコロナ対策はほとんど解除されました。少しずつ日常生活に戻っていきます。おかげ様で、初夏に再び人形博物館で幣協会総会を開催することができました。今年のハイライトは10月に開催した日本の太鼓と舞踊のコンサートでした。和太鼓の熱気あふれる演奏や舞踊の伝統的な芸術、華麗な着物姿の日本舞踊の師匠の舞や繊細な琴の音 - 素晴らしいイベントでした。そして11月に初めて貴協会とオンライン交流会を行い、初めてオンラインで顔を合わせることができました。活発な交流は、私たち全員にとって新しく、充実した経験となりました。

市民が再び鳥取市に足を運び、両市の友好交流が対面で復活することを心から願っています。当役員会は来年度のイベントの準備を進めています。後ほどお知らせいたします。最後になりますが、当協会に対していつもご愛顧をいただき、誠にありがとうございます。

メリークリスマス、そして良いお年をお迎えください。2023年、新たな年をご健勝で平和に過ごせますようお祈りいたします。

心からご挨拶を申し上げます。

友好協会ハーナウ会長 ヒルデガルド・ゲーベルト